

2018年1月11日

NO. 103

ぶつたあ

通信

発行 社会福祉法人 ぶつたあ福祉会

〒六五六二四〇一 茨城県市岩屋一六五の四

みんなの家 ☎ (0799) 70-6145

みんなの家 fax (0799) 70-4001

携帯電話 090-8211-5087

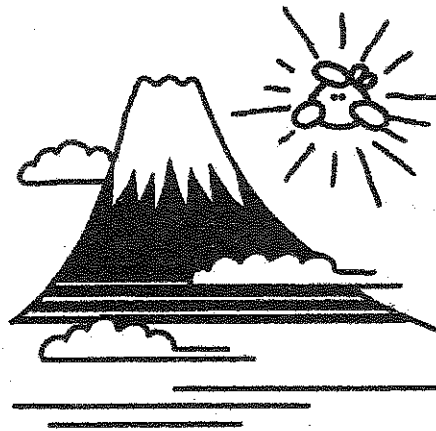
新年のご挨拶

あけましておめでとございます。

昨年は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。

本年も職員一同、一丸となって取り組む所存でございますので、

何とぞ昨年同様お付き合い下さいますよう、よろしくお願いいたします。



東 千歳
安藤 や系子
伊郷 真一郎
磯岡 洋子
岩井 昌久
上村 友規
榎本 百合子
片山 英樹
鎌谷 みゆき
川野 耕治
坂本 美津枝
澤井 祐子
地行 千世子
城下 都
城下 陽一
鈴木 健
鈴木 利美
高田 直美
高辻 芳幸
立木 由佳
塚本 幸子
遠松 左知子
中島 治子
中谷 秀子
中谷 勇一
長野 陽子
成田 すみ子
藤井 繭
藤永 憲
藤森 美和
古市 みゆき
保地 みちか
正木 君枝
山崎 幸美

「ぶったあ」の由来

中谷 勇一

「ぶったあ」の名前の由来を聞かれることがよくあるので、書いてみようと思う。

四十三年前、一人の男の子が岩屋で生まれた。男の子は長ったらしい病名が付き、余命数ヶ月と言われた。が、彼は見事に生き延びた。

言葉がなく、歩けなかった彼は保育所は諦めたが、話し合いの中で幼稚園に入った。

初めての集団生活を彼は楽しみ、小学校もみんなと一緒に楽しんだ。

お医者さんに意見書を書いてもらい、みんなの応援の中、条件付きだが小学校に入った。その条件も先生たちの努力ですぐになくなった。

クラスは障害児学級だったが、学校は原学級保障を大事にしてくれた。

その結果、彼は同級生と一緒にクラスで共に学び、共に育つことができた。そのうち彼は、少しずつ歩けるようになった。

ある日彼は、友達に向かって「ぶったあ」と言いだした。

先生とクラスの仲間は、「ぶったあ」って何やと考えた。

みんなの話を聞くと、単なるブタと言っただけでもなさそうだった。

彼は「ぶったあ」と言いながら、友達と会話ができた。

先生は、この不思議な言葉をもらい、学級通信を「ぶったあ」と名づけた。

学級通信「ぶったあ」はみんなを悩ませながら、小学校を卒業するまで発行された。

それから数年後、不思議な言葉「ぶったあ」は作業所として復活し、地域の生きる拠点になった。

事業所の名前は、それぞれの思いや願いが込められて付けられています。私達にとって「ぶったあ」は、障がいがあっても「地域の中で生きる」願いがこめられた言葉です。

ところで、「ぶったあ」の生みの親である彼は、今は、「ぶったあ」の「ぶ」も言いません。不思議な言葉「ぶったあ」より彼は、不思議な個性を発揮しながらマイペースで日々を過ごしています。



<<ピープルファーストの活動>>

●九月二日(土)

「兵庫ピープルファースト会議とカンパ活動」

「コミスタ神戸」で会議があり、メンバー六名と職員が二名で参加しました。障がいのある当事者が主になって、職員は勉強をかねた参加になります。今回の議題は、

①兵庫ピープルファーストのシャツづくりのこと。次回までにデザインを考えてくる。

②ミニピープルをやりたいこと。

③全国大会分科会の内容。「戦争のない平和な社会をつくろう」「差別のない社会をつくろう」「困っているなかまのことを忘れずたすけあおう」など

④十月の会議と内容を決めました。「戦争について(原爆がおとされたとき)」と「なかまとたすけあおう」とについての勉強会、広島大会へのためのカンパ活動に決まりました。午前中の会議が終わり、昼から三ノ宮で地震で被害を受けた仲間や、やまゆり園の問題で活動している仲間の支援のためのカンパ活動をしました。



●十月二十八日(土)

「ピープルファースト会議」

「コミスタ神戸(八名参加)」

その日は、成年後見人制度の勉強をしました。勉強したことをクイズでふり返りました。

「何を管理するの?」「お金!」制度を利用したために公務員を解雇された塩田さんの話を聞き「どう思うか?」「おかしい!」「差別だ!」と、手を上げて発言していました。

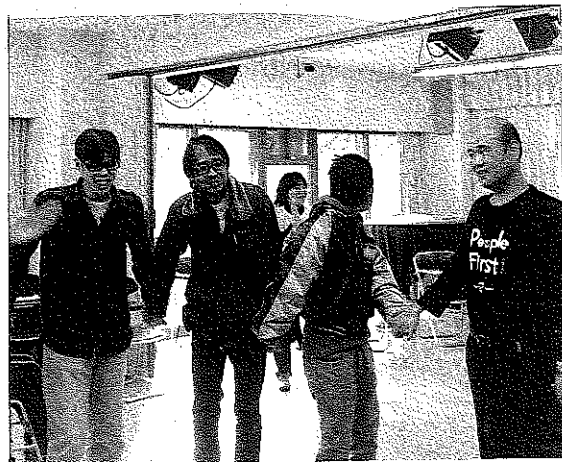
●十二月十六日(土)

「ピープルファースト会議」

「クリスマス会」(四名参加)

神戸学生青年センターで行われました。会議では全国大会の感想を発表した後、一月の活動予定を決めました。全国大会が広島で行われたということもあり、平和を願う声が多くありました。

クリスマス会では、ジャンケン列車、ダンス、プレゼント交換をして楽しみました。帰りの車の中では、「楽しかったねー!」とみんな笑顔でした。



《ピープルファースト全国大会in広島》

僕は、当日風邪をひいていた。しかし治るまでマスクとティッシュをもって出かけた。広島の1日目は全体会で盛り上がり、交流会でも盛り上がった。ただ東根（奈津美）さんの欠席は痛かったが、近藤恵子さんの代役で何とかがんばった。宿泊も一日目は少しみすぼらしいが、早めにねて安静にした。

2日目は、分科会で戦争について語ったり、「沖縄にすんでる人」のことを話した。解散すると宮島へ遊びにいったり、お好み焼きを食べたりした。次のホテルは少し豪華だった。そしてスキヤンダルが！寝ている間体をこわし尿結石でトイレへ！だが少し楽になった。

3日目は竹原観光でおみやげを買った。そのおかげで最後おみやげは買えなかったが、楽しかった♡

竹代恭平



《ピープルファースト全国大会in広島》

十一月二十五日～二十七日

参加者

竹代恭平・近藤恵子・山谷要多・高辻芳幸・中谷秀子

中谷秀子

今年は、ぶったあの中移動しました。二十五日の朝七時に出発し、途中SAで昼食をしましたが、三十分も早く広島国際会議場に到着しました。兵庫の仲間、えんびつの家、シティーライト、あかね、労働文化センターから参加し、全国から七百名が集まりました。

午後一時に開会し、知事や市長の挨拶のあと全体会として三つのテーマで発表されました。

一、「戦争のない平和な社会をつくる」は大学教授の長瀬さんが話されました。

二、「差別虐待のない社会をつくる」は、「津久井やまゆり園で十九人も殺された事件」を重く受け止め活動してきた横浜の仲間たちの報告です。

三、「東日本大震災から六年半、今ほくとほくのなまたちのこと」を福島の菊池さんが報告しました。

北海道の鬼塚さんは、必要なサービスを求めて七年も裁判をしてきましたが、生活は不安定なままです。

大阪の塩田さんは、成年後見人制度を利用したために吹田市職員を解雇され裁判で闘っています。

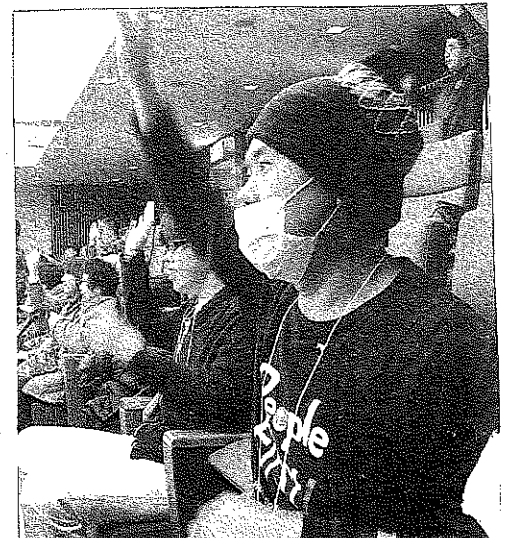
夜は交流会です。ホテルで食事をしながら、他のまちから来ている人達と紹介し合ったり、歌ったり踊ったりにぎやかに過ごしました。

翌朝は、紅葉に光る「原爆ドーム」や「おりづるの像」を前に散歩しました。

十二分科会の中で、私たちは「戦争反対」と「元気がでるはなし」に参加しました。竹代さんも山谷さんも元気に発表しました。

閉会式で、来年の全国大会は「奈良」に決まりました。

大会の後、せっかく広島に来たのだからと、宮島や竹原を観光し、でっかい広島焼きを食べ、みんな大満足でした。





八月二十六日(日)
淡路文化会館であり、お菓子と
さをり織り製品の販売をしました。
「みんながつくるみんなの学校
」すべての子どもの学習権を保障
する」と題した映画と、校長の
木村泰子先生からのお話などがあ
りました。

津名教育研究集会



淡路栄光園夏祭り

八月二十六日(日)
十四時三十分から始まり、栄光園
職員による太鼓披露や盆踊り、模擬
店などがありました。私達はお菓子の
販売をしました。
又、夏祭りに向けての、駐車場の
草刈りの仕事をさせてもらいました。



九月八日(金)
今年も、晴天の元で体育大会があ
り参加しました。
競技に乗り気のないポーズをして
いた人も、いざ本番になると必死で
ボールを運んでいました。

岩屋中学校秋季体育大会

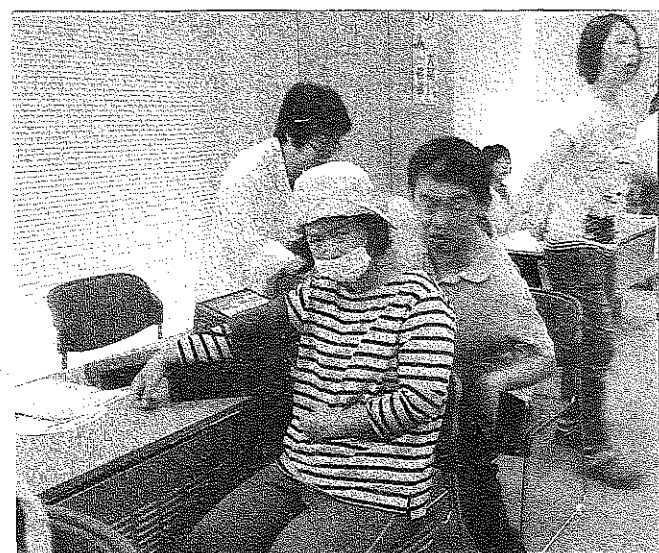
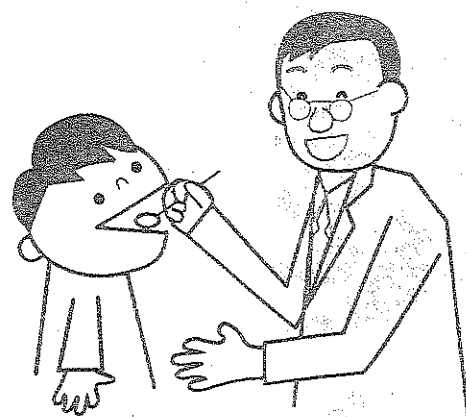
ふたあふ社会のみなさんへ
元日は10月28日の会議、ごとうさまです。
PM 14:00 ~ 15:00 のかいどう かんぱは 始めのほ
ろが きたたけど、なじに ながやみさか
きたたうじきしどかたけど、こめとみさか
やれてきたたとおもいます。知的障害をもつ
ことにきんたじきもあるけど、まだ知的
障害、いかにその中の人にとめてもらえてき
おもいます。それは知的障害者は、きんた
されていらないとおもいます。ほくは、きんた
強者やし、差別をくたない社会にするに
は、きんたの知的障害者の声が、いります。
差別をくたないをなすには、知的障害者
が、前にでて、声をあげないと、せけんには
きいてもらえんとおもいます。兵庫からきいて
きんたしんじる仲間、きんたをあたえるよになら
じみちのみちをすすんで、まだきんたは、たふら
命を大切にしてほしい。きんたを大切
して、のびのびやていこう。知的障害者の
底じからせけんにもわけていこうや

兵庫ピープルファーストの仲間・
岸田さんよりお手紙をいただきました！

歯科検診及び歯科保健指導

九月十二日(火)

みんなの家であり、藤歯科医師と
洲本保健所の担当職員からの指導を
受けました。
メンバーも、定期的に歯科受診を
受けている人が増えています。



まちぐるみ健診

九月十五日(金)

岩屋のすこやかセンターであり、
十五名のメンバーが受けました。
身体計測・血圧測定・尿検査・血
液検査・レントゲン検査などがあり、
スムーズには行きませんが無事終
わりました。



国生みの島フェスティバル

十月一日(日)

淡路文化会館に、たくさんのお店
と共に子供達の体験コーナー等があ
りました。私達は、お菓子とおも
ちゃの販売とわなげゲームの店を出
しました。

佐野デイ秋まつり

十月一日(日)

佐野デイサービスの秋祭りがあり、
参加とともに花やお菓子の販売をさ
せていただきました。
国生み太鼓や三味線、ミニライブ
などがありました。



第九回東浦ふれあいまつり

十月八日(日)

淡路市社会福祉協議会地域支えあ
いセンターひがしうら主催で、学習
小学校の駐車場と体育館で行われま
した。

野外ステージ・体験コーナー・屋
台コーナー・作業所販売コーナーの
他に、バザーやもちつき等など賑や
かでした。



第十二回がいな！ハピくる祭り

十月十四日(土)

淡路市ボランティア市民活動セン
ター岩屋と淡路市社会福祉協議会地
域支えあいセンターいわや主催で、
岩屋すこやかセンターでありました。
時々降る小雨に負けず賑やかな会
場で、いろんなお店やステージがあ
りました。私達は、花とお菓子、パ
ンの販売をしました。



明石海峡公園秋祭り

十月十四日(土)

時々小雨が降る天気の影響したのか、人の出入りが寂しかったです。次の日もお店を出す予定だったのですが雨で中止になりました。残念。



ふくろうの里ふれあい祭り

十月二十二日(日)

台風二十一号が接近したため、予定を急きょ変更し、規模を縮小し、会場を淡路ふくろうの郷だけに行われました。

私達も楽しみにしていましたが、やむなく職員がお菓子の販売だけをさせていただきました。



第九回津名ふくし祭り

十月二十八日(土)

淡路市社会福祉協議会地域支えあいセンター津名運営委員会主催。小雨の中でしたが、人もそれぞれにあり賑やかだった。花とお菓子を売らせてもらいました。



せいれい健康フェスタ

十一月三日(金・祝)

聖隷淡路病院であり、私達もお店を出しました。

当日は、健康測定・体験コーナー・健康相談に加え、子供向けの企画やステージイベント(桂丸福さんの寄席等)がありました。



北淡地域文化祭

十一月四日(土)

淡路市人権教育研究協議会北淡支部主催で、ドキュメント映画「風と雑木林と建築家夫婦の物語」の上映会がありました。

私達は、パンとお菓子・さをり織りの販売をさせていただきました。



第十三回あらたエコフェス

十一月四日(土)

毎年神戸の荒田公園で行われている「社会福祉法人シテイライト」のイベントです。付き合ひも古く毎年参加しお店を出しています。風から風が出て来ましたが、楽しい一日でした。プロ顔負けのチンドン屋さん(神戸大学チンドンサークルOB)は素晴らしいですよ。



ALPHA祭 (兵庫県立淡路景観園芸学校)

十一月四日(土)・五日(日)
テーマは「緑の魔法にかけられて」、学校の魅力を地域の人達に「魔法」という形でアピールすると言う意味があるそうです。
私達は二日間お店を出し、ALPHA祭を通してたくさんの人たちとの出会いがありました。



一七市 拡大版2017
「あの日の思いやり」の心を忘れぬために」

十一月五日(日)
新長田駅前の鉄人広場であり、テーマは「改めて災害に備える心を」です。鉄人広場いっばいに福祉事業所のお店等が出ました。作業所の見本市・震災関係の展示・ステーションなど催し物もいっぱいでした。



ウィズアスの花植えと交流

十一月十五日水
神戸海洋博物館前の花壇に植える花を毎回注文してくれています。
納品の日に、交流をかねて一緒に花植えをしています。
今回天気にも恵まれ、ドライブレよりにもなりました。買い物や食事と楽しみもありました。



第十三回淡路市人権を考える集い

十一月二十三日(木・祝)
一宮ふるさとセンターで行われ、人権ポスター・標語作品入賞者表彰式、スライドで「在日コリアンの歴史を知ろう」の後、「朴保(パク・ポー) 歌い語る」等がありました。私達は販売と共に、朴保さんのコンサートを聞きました。



第47回(2017年) 淡路合同クリスマス



日時：2017年12月3日(日)
午後2時～4時
会場：日本キリスト教団 各教会
主催：淡路キリスト教連合会

淡路合同クリスマス会

十二月三日(日)

淡路キリスト教連合会主催で、日本キリスト教団志筑教会で行われました。暖かい雰囲気好きなのか、毎年参加を楽しみにしているメンバーがいます。
今回も、お菓子や花の販売をさせていただきました。当日集まった献金は、「ぶったあ」に寄付とさせていただきます。ありがとうございました。

ぶったあのパン
是非お買い求めください!



草刈り
ご注文をお願いします!



<<園芸福祉>>

●九月八日(金)
室内での活動でした。マスキングテープを使い飾り付けた袋にラベンダー等数種類の良い香りのする植物を入れてオリジナル香り袋を作りました。



●十一月十日(金)
この日は、みんな一年間楽しみにしていたサツマイモ掘りでした。我先にと競い合ってイモを探していました。



●十二月八日(金)
一生懸命クリスマス用のリースを作ったあとは、ビンゴゲームでプレゼントを頂きました。盛りだくさんな内容でした。



海峽フレンスの皆さん、いつもありがとうございます

【ご寄付ありがとうございます】

(平成二十九年九月一日〜十二月三十一日・敬称略)

東根恵・坂野弘幸・片山商店・

中村明裕・関眞代・中村喜美江・

中村淳・陣内優・比良妙子・

淡路キリスト教連合会・

藤井康文・岡田有美・山本妙・

濱野愛子・中谷秀子・井上弘子・

岩屋キリスト教会

〜ご協力ありがとうございました〜

ご寄付のお願い

「ぶったあ福祉会」では、障がい者の地域生活を支援するために様々な事業を展開しています。どんな障害があろうと、働き、社会参加していく場を広げようと日々取り組んでいます。そのようなぶったあ福祉会の理念を実現するために、財政的な面でご支援いただける方を募集しています。金額はいくらでも結構です。宜しくお願い致します。
※今回のご寄付は新事務所移転による改修工事に使わせていただきます。

◇ご寄付いただく場合には、申請書に記入が必要になります。
◇社会福祉法人への寄付には、税制上の優遇処置があります。
確定申告時に、寄付された領収書を提出してください。

【郵便振替】

00940-4-276683 社会福祉法人ぶったあ福祉会

【お問合せ先】

ぶったあ福祉会事務局 会計担当 立木
(電話番号 0799-70-6145)

《秋の姫路でバリアフリーチェック&交流会》

2017年11月12日(日)、姫路で行われた「秋の姫路でバリアフリー&交流会」に行ってきました。ぶったあから、尼崎と桑名の2名が参加しました。

前回の明石に続いて、2回目は秋の播磨路の、姫路が舞台です。今回のバリアフリーチェックする場所は、山陽電車姫路駅、JR西日本姫路駅、姫路駅周辺ビル店舗、姫路バス、姫路城の5か所を、バリアフリーチェックします。私、尼崎と桑名組は風裕之さんと一緒に班で、姫路城の車いす専用トイレをバリアフリーチェックしてきました。

姫路城の車いす専用トイレの中を見てみると、トイレじたいはきれいでしたが、建てるものは古いが、幅が狭くて、このままじゃいけないのに気付いた事があるのは何かと、私はひらめきました。

「車いす専用トイレが狭いと車いすを使用している人たちが、やりづらくなるかもしれないので車

尼崎良一

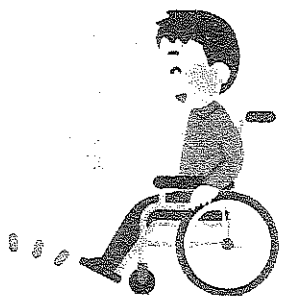
いす専用の幅を広げて、車いす専用の方もやりやすいトイレにするべきだ。」と、私は、感じました。

バリアフリーチェックを終えたあと、食事をしてから、イーグレひめじへ移動して、各班ごとのバリアフリーチェックの報告です。

まず、自分の所属先と、今回のバリアフリーチェックに参加しての事を各自で発表していききました。

今回の姫路にてのバリアフリーチェックに参加して本当に素晴らしい会議になったと、おもっています。これからほとんどんバリアフリーの事に、ついて、チェックしていきたい企画でした。

どうもありがとうございました。

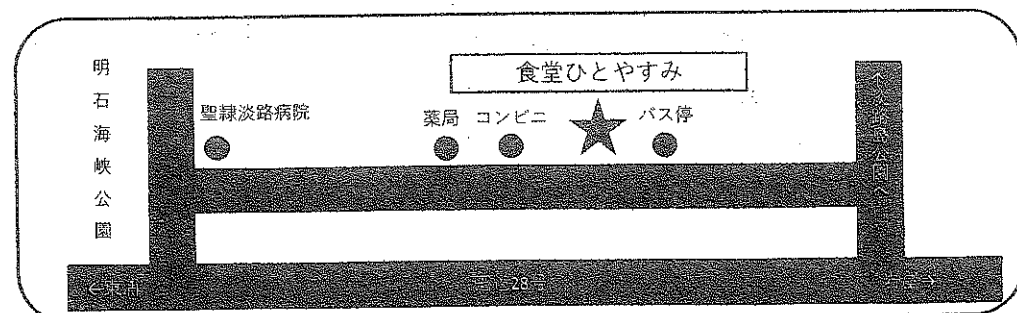


食堂ひとやすみ

障害者総合支援法
就労継続支援B型事業



営業時間 8:30~15:30 定休日 毎週水・日曜日・祝日



元気もちつき大会 2018



昨年中止した、もちつきを今年は開催します。
みんなが互いに助け合った「あの日」を忘れない為に、
さあ、みんなで元気にもちつきをしましょう！

◆日時 : 1月20日(土) 13:00~14:30
◆場所 : 花の店ぶったあ(岩屋商店街)
◆主催 : 社会福祉法人ぶったあ福祉会

当日、ぶったあのお菓子や
パンの販売も行います。
よろしくお願いします。



もちのふるまいもあります。
お気軽に参加してください。

協力：立谷林也様
中山友良様
かじた屋
岩屋保育所

＜お問合せ＞ 社会福祉法人 ぶったあ福祉会
☎ 0799-70-6145

新しい自立生活につなぐ地域で当たり前前の生活を作り出そうをテーマにして、まず兵庫県で取り組んでいる風俗之さんが報告しました。

彼は、淡路島出身で、NPO法人ぶったあ福祉会の職員として知的障害を持つ人たちの日中やグループホームでの支援を行っていました。

三年前に車イス生活になり神戸で一人暮らしを始めました。障害者問題を考える兵庫県連絡会議に所属し介護保障の問題や教育、バリアフリーの問題に関わっています。

現在、重度訪問介護と生活介護のサービスを使っているが、夜間の介護を求めて行政と交渉してきました。社会活動も増し、更新申請を求めています。

今後、深夜必要な時間を認めさせ、行政の「言いなり」になってしまっている当事者をなくしていきたいと訴えました。

続いて、神戸市長田区のシェアハウスに暮らす迫田博さんから、

必要な支給時間を申請した経緯がトースティングエイドを利用したり、ジェスチャーで話されました。

次に、弁護士の藤岡毅さんから介護保障ネット五年間の歩みが報告されました。大阪高裁や和歌山地裁の判決から、以下のポイントが示されました。

一、支給決定が違法になる場合
 二、具体的事実をどのように検討したか。

三、財政問題をどのように検討したか。

さらに、憲法上の権利として十三
 条、十四、二十二、二十五、
 障害者権利条約十九、及び、改正
 障害者基本法や障害者総合支援法に
 おいて説明されました。

後半は、各地域で生活している当事者からの報告やヘルパー時間数交渉の事例報告が行われ、四時間にわたったシンポジウムが幕を閉じました。

ぶったあからは、職員とメンバーで八名参加しました。

《兵庫県との話し合い》

十一月十三日(月)

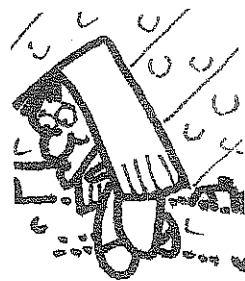
中谷秀子

毎年行われている「障害者問題を考える兵庫県連絡会議」と県との話し合いが11月13日に開かれ、ぶったあ福祉会から4名が参加しました。今回相模原事件で容疑者が主張する「障害者は不幸しか生み出さない」は、1966年に「不幸な子どもが生まれない県民運動」を推進してきた歴史と同質の優生思想だったことを兵庫県として反省すべきではないかと当事者から口々に発言されました。

津久井やまゆり園入所施設の再生については議論が続いています。地域のグループホームへの移行をグループファーストでも訴えています。

2016年12月の資料から、入所施設よりグループホーム入所者数が上回っているのは残念ながら8道府県だけです。

兵庫県は、グループホームが立ち遅れ、施設入所者数5488人に対し、グループホーム入所者は2711人と半分にも及んでいません。どうすれば地域生活を推進しているのか、今後も兵庫県との意見交換が必要だと感じました。



グループホームのお正月

自宅に帰れない人たちは、三日の日の中のサービスを使い、「みんなの家」にある販売用の花に水をやってから、赤穂までドライブに行きました。大石神社に行ったり、道の駅に寄ったり楽しい一日を過ごしました。



「ぶったあのお菓子」販売ご協力に感謝！！

- | | | |
|--------------------|--------------------------|-------------------------|
| ・ほくたん物産
(震災公園内) | ・イオンサロン | ・栄光園(特養) |
| ・かんぼの宿 淡路島 | ・アワジリカー | ・せきれいの里 |
| ・ゆうらぎ(特養) | ・カプチーノ | ・サナあわじ(株)
(聖隷淡路病院売店) |
| ・パルシェ物産館 | ・国際交流センター
(津名港ターミナル内) | ・あわじ花さじき |
| ・社協一宮支部 | ・淡路市役所 | ・花の店ぶったあ |
| ・柴宇淡路食彩(株) | ・佐野デイサービス | ・食堂ひとやすみ |
| | ・コーナン東浦店 | |